

## 【奥多摩町】 校務DX計画

### 1 これまでの取組

#### (1) 統合型校務支援システムの導入

統合型校務支援システム（C4th）を導入し、学校におけるグループウェア機能、教務系、学籍系、保健系などの情報を一元管理及び共有している。名簿情報の不必要的手入力作業の負担の軽減とともに、情報セキュリティ面での改善を図ることができた。

#### (2) 連絡支援アプリの導入

児童・生徒の欠席や保護者へのお便り等の配信を町内小中学校に導入している。

### 2 校務DX化チェックリストを踏まえた課題と今後の取組

#### (1) 統合型校務支援システムや指導者用端末を用いた校務改善の推進

統合型校務支援システム（C4th）を職員会議等における資料共有等により活用するため、企業と連携したシステムの説明会等を定期的に実施する。また町教育委員会が開催する連絡会や研修会等でも指導者用端末を使用し、教員のデジタル活用能力の向上につなげていく。

#### (2) FAXでのやりとり・押印の廃止

FAXを用いたやり取りは、主に学校と民間事業者とのやり取りに使用している。真に必要なものを除き、メールによるやり取りを推進していく。

押印については、契約書類等の真に必要な場合を除き、文書の押印の廃止を進めている。今後も関係部署や関係機関と連携を図りながら、改善を図っていく。